



令和5年1月31日

けんいちだより

発行責任者：(公明党 さいたま市議会議員) さいとう健一 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

清水さいたま市長に物価高騰対策と子育て支援策を要望

昨年12月16日、清水さいたま市長に、物価高騰から市民と事業者を守り、また子育て支援の拡充を求める要望書を提出いたしました。

今回の要望書は、政府が昨年10月28日にまとめた総合経済対策の裏付けとなる総額28兆9000億円の令和4年度第2次補正予算が12月2日に成立しました。この中には、家庭や企業の電気、都市ガス料金の負担軽減や燃料価格の抑制のほか、妊娠期および0～2歳の低年齢期に焦点を当てた子育て支援の拡充が公明党の強い主張によって盛り込まれました。これを受けて清水市長に、国の第2次補正予算を活用した事業の早期執行を以下の項目について対策を講ずるよう要望しました。

① 水道料金の減額制度の拡充と協同住宅扱いの要件緩和

② 県の制度に該当しない営業車両を使用している小規模事業者・個人事業主等への燃油料支援

③ 高齢者・障がい者施設や保育施設等への運営費支援

④ 子育てヘルパー事業の家事支援の拡充と育児支援制度の創設

⑤ 伴走型支援のための相談体制の拡充

12月定例会の本会議で賛成討論

昨年のさいたま市議会12月定例会最終日前日の12月22日に、国の補正予算に伴う事業実施の追加の補正予算議案が上程され、特に令和4年4月1日以降の妊娠・出産に1人当たり合計10万円を支給するなどの「伴走型支援事業」が2月から開始することや、「こどもの安心・安全を確保するため、送迎車両への安全装置の導入等の支援事業」について会派を代表して12月23日最終日に賛成討論を行い、賛成多数で可決しました。

今後は成立した支援事業が速やかに執行されるよう取り組んで参ります。



見沼区のまちが変わります・変わりました

さいとう健一は、市民の皆様が安心・安全に、利便性向上など住みやすいまちづくりに取り組んで参ります。

POINT 七里駅舎改修事業 (橋上駅舎・南北自由通路)

現在工事中の七里駅舎改修事業は令和5年度末の完成を目指して、七里駅の橋上化及び南北自由通路の整備を進め、市街地が駅の南北で分離していたものを解消して、地域の利便性や安全性の向上を図ります。



POINT 新設大和田地区小学校を大和田特定 土地区画整理事業地内に整備

新設大和田地区小学校は令和8年度4月開校を目指して、大砂土東小学校及び大谷小学校の過大規模状態を解消するために新設校を整備します。



また、整備にあたっては「放課後児童クラブ」、「大和田保育園」、「市民利用を前提とした学校体育施設」の3つの機能を導入した複合化施設としても整備を進めます。

POINT さいたま市初の「道の駅」が見沼区宮ヶ谷塔2丁目に整備

さいたま市の優位性を生かした、まちづくりにつながる施設として、道の駅の整備を推進してきました。その結果、市は基本計画を策定し、初の「道の駅」が見沼区宮ヶ谷塔2丁目に整備されることが決まりました。

令和10年度末の開設を目指して、道の駅は地域をつなぎ、民間の活力を引き出すハブ拠点として、地域経済の持続性や活性化が期待されます。区内でもコミュニティセンターのない春岡地域で、道の駅ができれば住民のコミュニティ拠点にも活用できます。

道の駅のイメージパース



POINT 島町西部土地区画整理組合地区内の道路を仮舗装

令和3年9月定例会本会議で、舗装されていない道路について、生活環境に重大な影響が出ている土地区画整理事業地区内の路盤道路については、環境対策として仮舗装を要望して舗装して頂きました。



特別養護老人ホーム「島町花の郷」前の道路

POINT 乗合タクシー「みぬま号」がハレノテラス 経由にルート変更

令和2年12月定例会の本会議で地域住民の要望を受け、収支率のアップにもつながるハレノテラス経由のルート変更を要望して、昨年12月1日よりルート変更となりました。



POINT 公園に自動販売機併設型の防犯カメラ を設置

防犯対策として、防犯カメラが有効ですが、維持費用が係ります。

防犯カメラを自動販売機設置業者が設置することで市負担はゼロで設置できました。見沼区では8か所の公園に設置されています。

